

「暮らす」「招く」「育てる」の真ん中で、新たな交流や体験を生み出す「道の駅」

新「道の駅」かんおんじ(仮称)ニュース

第3号
令和6年10月発行



資料: 国土地理院地図(電子国土Web)を加工して作成

写真: インスタグラムフォトキャンペーン入賞作品

【観音寺市の位置】

- 観音寺市は、香川県の西南部に位置し、総面積は117.83km²
- 徳島県、愛媛県に接するとともに南部は高知県にも近く、四国8の字ネットワークの分岐点となる川之江JCT・川之江東JCTに近接していることから、四国4県の県庁所在地には車で約1時間程度で移動が可能

新「道の駅」建設候補地ってどんな場所？



「国土地理院発行2.5万分1地形図を加工して作成」

※裏面は「建設候補地のつづき」「財源」を紹介！

【交通の状況】

- 主要幹線道 国道11号(15,251台/日)
- 主要地方道 県道21号(6,563台/日)
- 大野原ICまで 車で約1分 約1km

【周辺公共施設】

- 観音寺市ちようさ会館(近接)
- 一の宮公園まで約500m
- 三豊総合病院(DMAT指定病院)まで約300m

【発行者】 観音寺市政策部プロジェクト推進課
 電話 0875-23-7577 E-MAIL project@city.kanonji.lg.jp
 詳細はこちら(市HP新「道の駅」特設ページ)



新「道の駅」建設候補地は、どうやって決めたの？

○新「道の駅」建設候補地は以下の手法で決定しました！

前提条件 12エリア

- ▶大規模空閑地
- ▶ICもしくは国道に接道

一次選定 7エリア

- ▶津波・高潮・洪水
浸水区域除外

二次選定 4エリア

- ▶基本目標による
評価

三次選定

- ▶事業の実現性

○建設候補地の強みと弱み

強み

- ①交通量や連携可能な公共施設との相乗効果により**最も集客性が望める。**
- ②大部分が**農用地区域から外れている。**
- ③固定資産税評価額が比較的安価であることから**財政負担を抑えることができる。**
- ④**過疎対策事業債の活用**が可能である。

弱み

- ①渋滞への影響が懸念され、また、跨線橋による高低差の解消など**交通処理に関する課題を解決**する必要がある。

道の駅の財源！

○市民の不安



▶閑散とした道の駅となり、将来負の遺産にならないの？

▶観音寺市の財政は大丈夫か？

○将来負の遺産とならないために！



▶道の駅の必要性は理解したが、**ライフサイクルコストと収支予測**をしっかりと確認し計画することが重要！

▶経営や観光、産業振興など**幅広い分野で豊富な知見を有した運営事業者を選出**することが重要！

▶飽きがないよう、定期的なメニュー変更やイベントなどで**何度も来たくならない**ような**しくみづくり**が重要！

持続可能な道の駅運営を実現し、地域経済の活性化に寄与することが必須！

○財政負担の軽減のために！

活用を検討している財源

【国庫補助等】補助率 1/2等

- ▶社会資本整備総合交付金(道路事業)
- ▶インバウンド受入環境整備高度化事業
- ▶農山漁村振興交付金
- ▶クリーンエネルギー自動車導入促進補助金

- ▶先進的なサイクリング環境整備事業
- ▶デジタル田園都市国家構想交付金
- ▶再生可能エネルギー関連補助金
- ▶災害・熱中症対策関係事業

【起債】

- ▶過疎対策事業債
- ▶緊急防災・減災事業債

※**充当率:100%、交付税措置70%**

※**充当率:100%、交付税措置70%**

【その他】

▶がんばれ観音寺応援寄附金(ふるさと納税)、企業版ふるさと納税など

※補助金や起債、その他について、時限的な制度もあるが、整備時に最も適当な財源を積極的に活用します。